

四方八方から!!!

時鐘

平成30年10月17日
金武小 第10号
校長 森元幹生



大雨。今朝は、校門周辺が無法状態化…。車の両サイドのドアから飛び出し、停車中の車を越そうと道路がふさがり、そのすき間を走る児童達。まさに、四方八方から児童が校門へ突入です！

なんとと言っても児童の安全を第一に、そして、皆さんが起こす恐ろしい事故がないよう、できることから金武町内一斉テクテク登校運動にご協力ください。

當山久三生誕記念祭顕彰式

沢山の人々、テレビ局のカメラ、かなりの緊張感でしたが、顕彰式にてジューマさんが立派にあいさつを述べることができました（與那城幸乃教諭指導）。会場中がシーンと静まりかえり、彼のあいさつの素晴らしさを物語っていました。また、音楽部（吉澤真由美教諭指導）は中学校吹奏楽部と素敵な合奏を披露してくれました。



沢山の人々の前であいさつするジューマさん(6年生)

2018年(平成30年)10月17日 水曜日 市町村 (26)

當山久三 生誕150年記念祭 金武町

【金武】沖縄移民の父と呼ばれる當山久三（1868-1917年）の生誕150年記念祭（同実行委員会主催）が14日、出身地の金武町で開催された。当時、移民を奨励する場所だったドンタン小（現・金武町金武）で開催された顕彰式には多くの町民が参加した。

フィリピン出身で金武小学校6年のサイゾン・ジューマさんが児童代表のあいさつ。「日本に来たばかりの時は日本語が話せず悔しくて泣いたこともあった」と振り返る。

（佐野真穂）

當山久三は、1868年に金武町に生まれ、1917年に金武町で没した。99年に移民事業に着手し、移民を奨励するために、金武町に「當山久三記念館」を設立した。当館には、當山久三の生誕150年を記念して、金武町に「當山久三記念館」が設立された。当館には、當山久三の生誕150年を記念して、金武町に「當山久三記念館」が設立された。

進取の気性 継承

顯彰式で當山が結んだ句が歌われる金武小学校校歌を演奏する生徒たち

金武鎮継承を響くサイゾン・ジューマさん

美ら島だより 北部

琉球新聞社 琉球新聞社 琉球新聞社